

五泉市 議会だより



第62号

令和4年
1月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911 (内線370) FAX.0250-43-2716



令和3年度成人式（さくらんど会館）

議長あいさつ
(年頭のあいさつ)

議長

林 茂

副議長

佐藤 渉



市民の皆さまにおかれましては、令和四年の新年を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響で世の中が大きく変わろうとしている状況の中、五泉市議会といたしましても、安心して暮らせる、より豊かなまちづくりに向け、迅速かつ的確な施策が実現できるよう市民のご意見を積極的に伺い、一つ一つ誠意を持って取り組み、社会の変化に対応していくことが議会の責務であり使命と考え議会活動を展開してまいりました。

しかしながら、議会傍聴席数の制限など経験したことのない議会運営を余儀なくされているところでもあり、議会では、新たな取組といたしまして、三月の定例会から議会中継のネット配信を行うこととしております。

今後、さらに信頼され、身近な議会となりますよう、誠心誠意尽くしてまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願うとともに、本年が皆さまにとりまして大いなる飛躍の年となりますことを心から祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

12月 定例会

令和3年度各会計補正予算等41議案を審議

令和3年第7回12月定例会が11月30日に招集され、12月15日までの16日間の会期で開催されました。

初日の11月30日は、会期の決定、議長報告に続いて、条例改正や補正予算案10件、議員発議1件などを審議・可決した後、市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の12月1日は、引き続き市政に関する一般質問をすべて行った後、初日に可決した議案を除く19件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案に対する質疑後各常任委員会に付託しました。また、請願2件を所管常任委員会等に付託しました。

最終日の15日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて討論、採決が行われ、それぞれ可決しました。

続いて、請願2件についての閉会中継続審査の申し出、監査委員等の人事案件9件について審議しました。

また、日程追加された市長からの追加議案1件、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について審議・採決して閉会しました。

12月定例会の日程

月 日	内 容
11月30日(火)	本会議（開会、会期決定、議長報告、議案審議、一般質問）
12月1日(水)	本会議（一般質問、議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
3日(金)	議会運営委員会
6日(月)	総務文教常任委員会、建設産業常任委員会
7日(火)	市民厚生常任委員会
15日(水)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議、閉会）



編集後記
一般質問（7名）
請願

6
7 5

建設産業常任委員会
市民厚生常任委員会
総務文教常任委員会
委員会審査報告

5 4 4

主な議案の議決結果

3

第7回12月定例会

2

◆目次

ページ

主な議案の議決結果・概要【第7回 12月定例会】

【○：賛成，●：反対，－：欠席】

[illegible]

※1 法律に特別の定めがある場合を除くほか、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わりません。

※2 選挙管理委員会委員に田島富太氏、水戸信明氏、長澤厳氏、坪井祐子氏、同補充員に瀬倉鐵男氏、齋藤博子氏、佐藤幸代氏、堀内剛氏が議長の指名推薦により当選されました。

総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎熊倉 政一 牛腸 利栄 安中 聡 山田 正良
 ◎深井 邦彦 長谷川政弘 波塚 静亮

ドクターヘリの要請について 【消防機関】

問 ドクターヘリの要請はどのような場合に行うのか伺う。

答 県が行っている事業であり、救急の要請時大きな外傷や脳卒中など、緊急に医師の受診が必要な状態であれば、消防からドクターヘリの事業所に連絡し、出動の可否を求めて要請します。

問 ドクターヘリを要請する場合と、近隣の病院へ搬送する場合との違いについて伺う。

答 緊急に高度な医療を行える新大病院や新潟市民病院などに搬送する必要がある場合はヘリを要請し、そこまでの医療処置を必要としない場合は近隣の病院へ搬送します。

問 ドクターヘリを呼ぶとお金がかかるのか伺う。

答 ヘリに医師が同乗し、その場で受診となるため、その分の診療報酬はかかりますが、ヘリ

に乗ったり呼んだりするお金はかかりません。

救急救命士の実習について 【消防機関】

問 救急救命士実習委託料が減額になっているが、業務への支障はないのか伺う。

答 新潟市民病院で実習ができず減額しますが、五泉中央病院でも実習を行っており、この実習でカバーしていきたいと思っています。

問 市内で実習できるのであれば、市内で実習したほうが経費を抑えることができるのではないかと伺う。

答 新潟市民病院には重篤な方が搬送され、五泉中央病院は軽度から中等症の方まで幅広く診療するため、それぞれの病院で対応する患者が異なります。より重篤な方へ対応する技術、知識の習得を行うための実習は新潟市民病院で行いたいと考えています。

(◎委員長 ○副委員長)

市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎剣持 雄吾 林 茂 今井 博
 ◎桑原 一憲 佐藤 浩 佐藤 良徳

個人番号カード交付事業について 【市民課】

問 当市のマイナンバーカードの交付数と交付率について伺う。

答 十一月末現在で、累計一万三千九百四十八枚、二十八・五パーセントです。

問 県内二十市中十九番目の低い交付率の原因について伺う。

答 今まで、市民の皆さんが感じるメリットが多くなかったことではないかと考えています。

問 十月から運用開始したカードの保険証利用における広報活動について伺う。

答 医療機関等の対応が遅れている面もありますが、マイナポイント関係のメリットもあるというところで啓発していきたいと考えています。

要望 住民票等の証明書のコンビニ交付に際し、マイナンバーカードが必要となる。カードの普及のためにも、早くコンビニ交付を進めていただきたい。

新型コロナウイルス接種事業について 【健康福祉課】

問 現在のワクチン接種率について伺う。また、三回目の接種の優先順位について伺う。

答 対象である十二歳以上で、二回目接種が終了した方は、十一月末現在で九十・五パーセントです。

また、三回目の接種は、基本的には一、二回目同様医療従事者から始め、高齢者、高齢者施設等の入所者及び従事者、その後年齢順に進めていく考えです。

問 コールセンターの設置期間が十二月から三月まで、人員体制はこれまで同様五人であるとのことだが、二回接種終了後、この人員体制について議論があったのか伺う。

答 三回目接種の接種券は細かく分けて発送し、届いた方から順次予約をしてもらうため、予約が分散され五人でも十分に受付できると考えています。

(◎委員長 ○副委員長)

建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎伊藤 昭一 阿部 周夫 鈴木 良民
○白井 妙子 羽下 貢 佐藤 渉市内誘客促進事業について
【商工観光課】

問 作製予定の誘客マップの内容と設置場所、その形状、作製部数、設置の時期について伺う。

答 県内外から多くの方が訪れるラポルテ五泉やさくらんど温泉等の市内観光施設に設置し、内容については中心市街地に足を運んでもらうため、飲食店やお土産等を購入できる小売店を掲載予定です。また、形状については、折り畳み式でポケットに入るような持ち歩きやすいものを想定しており、飲食店版と小売店版を、それぞれ二万部作製し、できるだけ早めに設置したいと考えています。

問 誘客マップにQRコード等を貼り付けてスマートフォンで店舗の情報を確認できる仕組みを考えているか伺う。

答 営業時間や駐車場などの情報を確認できる仕組みを検討したいと思います。

施設園芸支援事業について
【農林課】

問 本事業は、農業用ハウスなどで暖房を使用して農産物を生産する経営体に対して、燃料価格高騰を考慮し、令和四年一月から三月までの間に使用した灯油一リットル当たりの高騰額の二分の一、上限五万円を補助するものとの説明を受け、補助上限額を五万円と決めた経緯について伺う。

答 一月から三月の平均使用量と、昨年同時期と比べた灯油の高騰額分から算定しました。

問 園芸農業用と家庭用を合わせて灯油を購入している場合の区別の方法について伺う。

答 購入した灯油は、園芸農業用と家庭用で領収書を分けて保存してもらう必要があり、制度の内容について広報やチラシで周知するとともに、申請の際には丁寧な説明を行い理解をいただいた上で実施したいと考えています。

(◎委員長 ○副委員長)

新しい選挙管理委員会委員及び同補充員が決まりました

【委員】 田島 富太氏、 水戸 信明氏、 長澤 巖氏、 坪井 祐子氏
【補充員】 瀬倉 鐵男氏、 齋藤 博子氏、 佐藤 幸代氏、 堀内 剛氏

以上の方々が当選されました。任期は令和4年2月22日から4年間となります。

請 願 に つ い て

◆請願第5

五泉市長や議員等の特別職の給与報酬削減を求める請願

◆請願第6

五泉市議会の議員定数の削減を求める請願

※以上2件の請願については、慎重な審査を図る必要があるため、継続審査となりました。

安中聡氏が議員失職

安中聡氏が令和4年1月16日市長選挙に立候補したため、公職選挙法の規定により同日付で失職となりました。

観光資源と歴史的遺物について

問 人口減少・少子高齢化が進む五泉市は、寂れゆく地域となっている。地域の方々が安心・安全で誇りを持って過ごせる地域にしていきたいために、交流人口の拡大で地域を活性化していかなければならないが、市外から人を呼び込むために歴史的遺物を活用すべきと考えるが、観光事業について伺う。

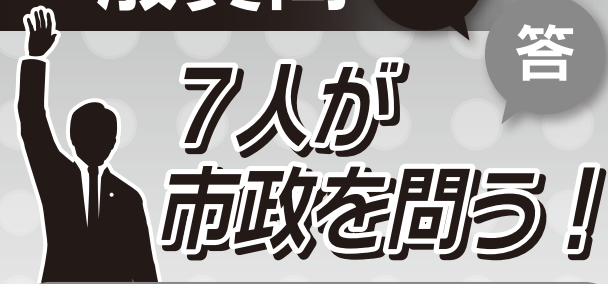
答 コロナ禍の影響を受け、花シリーズの誘客数は大幅に減少したが、咲花温泉の宿泊キャンペーンやスタンプラリーなどの事業で観光誘客と市内経済活性化に一定の効果はあったと考える。文化財や城下町といった観光素材で誘客が図れるよう、観光協会と連携し、情報発信などを進めていく。また、観光ガイドについては、定期的な勉強会を開催しており、新たな観光資源となるよう支援をしている。



羽下 貢議員

一般質問 問

答



【一般質問とは】各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねることです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。【編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。】

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで2月下旬頃から閲覧いただけます。

補助金の返還について

問 議員が代表を務める県立高等学校同窓会が、令和二年度に市が交付した補助金全額を周年事業の名目で学校教材購入費に充てたことは、学校教育法に反し違法である。本来県立高等学校設置者である県が購入すべき学校教材を、市からの補助金で購入したことは、誠に遺憾である。市は補助金の返還を求めるべきである。

答 市が交付する補助金については、五泉市補助金交付規則並びに五泉市補助金交付基準に基づき、各所管において交付要綱等を定め運用している。補助事業については、申請内容を審査し、団体等の行う行事の目的達成のために、公益上必要である場合に補助金を交付できるものとしている。また、社会通念上公金で賄うことが相応しくないものについては対象外となっており、各所管においては適切に対応しているものと考えている。



阿部 周夫議員

消費税新制度「インボイス制度」について

問 令和四年に消費税新制度が開始されるが、農業者、農業事業主にとってどのような制度変更になるのか。制度導入で、全農業主が対象納税義務者となるのか伺う。既に登録申請が始まっているが、登録申請適格請求書保存方式とはどのようなものか。また、税制変更に伴い、農業者や農業団体への啓発・指導は、市の農業行政としてどのように行うのか伺う。

答 新制度では、仕入れ税額控除のため適格請求書が必要となり、事前に税務署への登録申請が必要となる。ただし、課税売上高一千万円以下で、取引において適格請求書を求められないなど課税事業者になる必要がないと判断した場合、消費税の申告や納税の義務はないと考えている。農業者全体への周知は、関係機関・団体と連携して対応する。



長谷川 政弘議員

コロナ禍における 市民苦難の軽減について



波塚 静亮 議員

問 全国的に生活保護の申請が増加している。直近の状況を伺う。また、捕捉率が低く、多くの困難を抱える世帯も増えており、申請を促す方策が必要と思うが対策を伺う。さらに、ガソリンや灯油など原油価格の高騰により、生活必需品も高騰している。冬場の到来により、生活弱者を直撃する、まさに命と健康に直結する問題となっているが、市長の見解と対策を伺う。

答 今年度の申請件数は十月末までの累計で二十九件である。保護の申請については、健康福祉課内において、随時相談や受付を行っている。また、福祉会館内のくらしの支援センターと連携して対応している。経済的な支援が必要な世帯に燃料購入費の支援として、一世帯当たり五千円を助成する予算を今定例会に上程している。

行政のデジタル化について



山田 正良 議員

問 スマートフォンの使い方やオンラインの行政手続などが学べて、情報格差を生まない取組が欠かせないと考えている。高齢者などデジタル機器に不慣れな方への対応について伺う。

また、母子健康手帳は、母から子どもへの贈物であり、母と子の思いをつなぐ絆とも言える。母子健康手帳を補完するアプリの導入について、市長の所見を伺う。

答 高齢者を対象としたスマートフォン体験教室などを進めていく予定である。また、国において、母子健康手帳の様式見直しの準備が進められているので、様式見直しのタイミングでのアプリなどの導入を検討していきたい。デジタル化の恩恵を多くの市民が実感できるための市民に優しいデジタル社会を目指していく。

市営住宅について



安中 聡 議員

問 多くの市営住宅は、築年数が古いと思うが、古い建物であれば、カビやほこりなどがたまりやすいのではないかと、アレルギーの原因となるものが発生しているのではと気にする市民の声を聞く。市として、健康的に生活できる公営住宅を提供することも行政の役割として重要と考えるが、健康に留意した調査、整備はどのように対応しているか伺う。

答 アレルギー対策については、平成十年に国が示した公営住宅等整備基準により、新たに建設するものについて化学物質の発散防止の観点から、建材や内装材の使用の制限が設けられた。基準が示される以前に建設された市営住宅も含め、入居者からはアレルギーについての相談はないので、アレルギー調査は考えていない。

空き公共施設の再生、 利活用の推進について



桑原 一憲 議員

問 空き公共施設を交流人口、関係人口拡大につながるような、再生、利活用を推進し、地域活性化をするべきと考える。現在、体育館利用等の一時利用を除いて、行政用途での利用していない空き公共施設の数、維持管理経費、また、利用状況と今後の活用の見通しについて伺う。

答 現在行政用途での使用をしていない公共施設は、廃校となつた小中学校や廃園となつた保育園など十五施設であり、これらの施設の電気、水道料などの経常的な維持管理費はかかっていないが、施設周辺の環境整備のため、例年約七万円程度を支出している。利用状況は、町内会、社会福祉法人への年間貸付けが二施設となっており、施設の売却も視野に入れつつ、今後も有効な活用方法を模索していきたい。



令和4年消防出初式（五泉八幡宮）

■広報委員会
委員長 山田 正良
副委員長 佐藤 良徳
委員 阿部 周夫
" " " 委員
鈴木 良民
白藤 妙子
深井 邦彦



令和3年12月開催の広報委員会にて

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、日頃から市議会へのご理解とご協力、ご意見を賜り、誠にありがとうございます。
皆さまにとりまして、幸多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げます。

編集後記

五泉市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.gosen.lg.jp/parliament/index.html>

市議会ホームページには、議会だよりや議員名簿、議会の予定、議決結果など、五泉市議会の情報を発信しています。

また、「会議録検索」をクリックすると、市議会本会議での会議録を閲覧することができます。

スマホでも！
タブレットでも！



2月定例会より本会議のライブ配信開始されます!!

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911